

各会計の決算状況

1. 一般会計の決算状況

(単位：千円)

平成17年度決算額			Cの内訳		
歳入総額 A	歳出総額 B	差引 (A-B) C	繰越明許費 繰越額	基金積立額	翌年度 繰越額
5,037,502	4,946,585	90,917	-	50,000	40,917

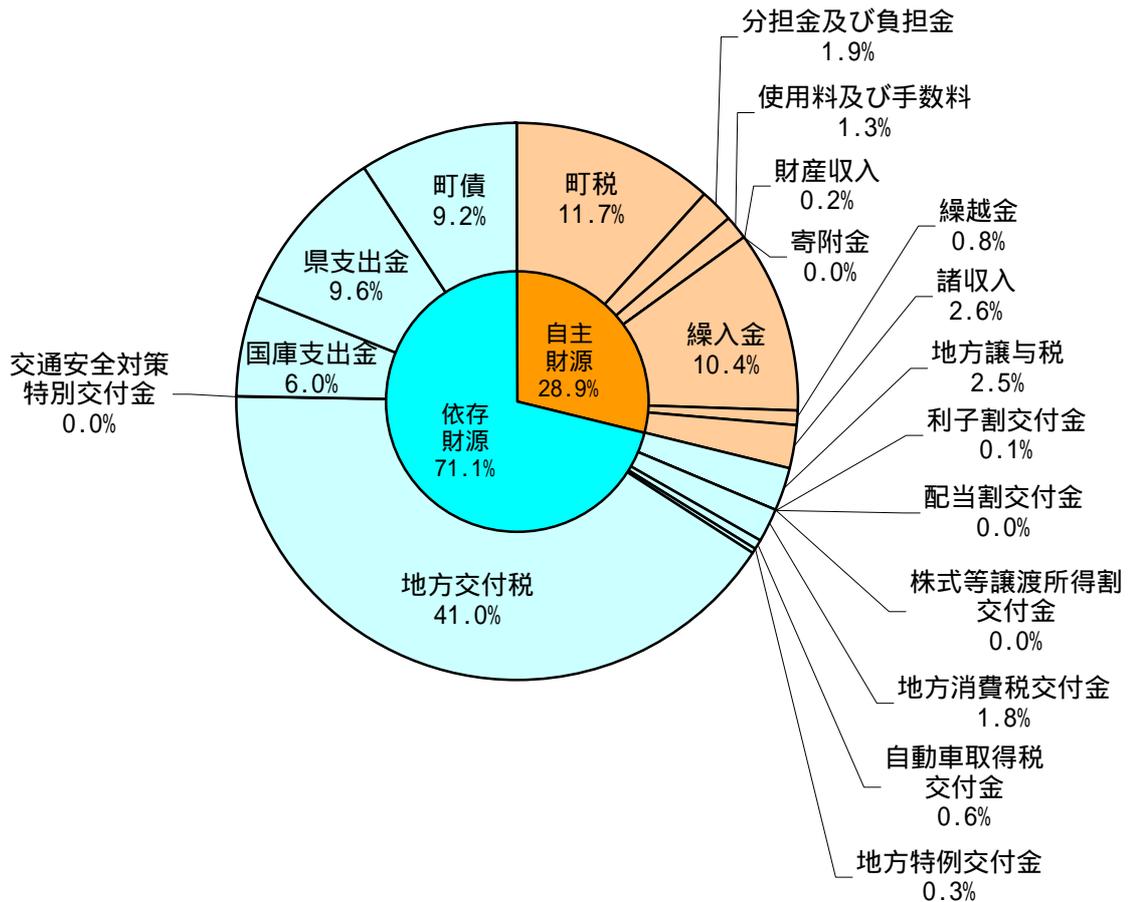
平成17年度の決算額は、歳入が50億3750万2千円で、前年度と比較すると6億650万円（10.7%）の減少、歳出は49億4658万5千円で、6億1477万2千円（11.1%）の減少となっています。

また、歳入から歳出を差し引いた剰余金9091万7千円のうち、5000万円を財政調整基金へ積み立て、残りの4091万7千円は平成18年度へ繰り越しました。

歳入

(単位：千円、%)

区分	平成17年度		平成16年度		増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比		
町税	587,702	11.7	586,415	10.4	1,287	0.2
地方譲与税	126,679	2.5	106,959	1.9	19,720	18.4
利子割交付金	3,788	0.1	5,924	0.1	2,136	36.1
配当割交付金	1,107	0.0	474	0.0	633	133.5
株式等譲渡所得割交付金	1,194	0.0	625	0.0	569	91.0
地方消費税交付金	88,665	1.8	92,818	1.6	4,153	4.5
自動車取得税交付金	30,729	0.6	31,779	0.6	1,050	3.3
地方特例交付金	13,107	0.3	14,833	0.3	1,726	11.6
地方交付税	2,063,037	41.0	1,993,889	35.3	69,148	3.5
交通安全対策特別交付金	1,651	0.0	1,729	0.0	78	4.5
分担金及び負担金	93,341	1.9	90,018	1.6	3,323	3.7
使用料及び手数料	63,556	1.3	53,238	0.9	10,318	19.4
国庫支出金	301,375	6.0	352,373	6.3	50,998	14.5
県支出金	485,639	9.6	840,260	14.9	354,621	42.2
財産収入	12,611	0.2	12,791	0.2	180	1.4
寄附金	200	0.0	-	-	200	皆増
繰入金	526,040	10.4	669,793	11.9	143,753	21.5
繰越金	41,645	0.8	49,863	0.9	8,218	16.5
諸収入	133,136	2.6	105,821	1.9	27,315	25.8
町債	462,300	9.2	634,400	11.2	172,100	27.1
合計	5,037,502	100.0	5,644,002	100.0	606,500	10.7



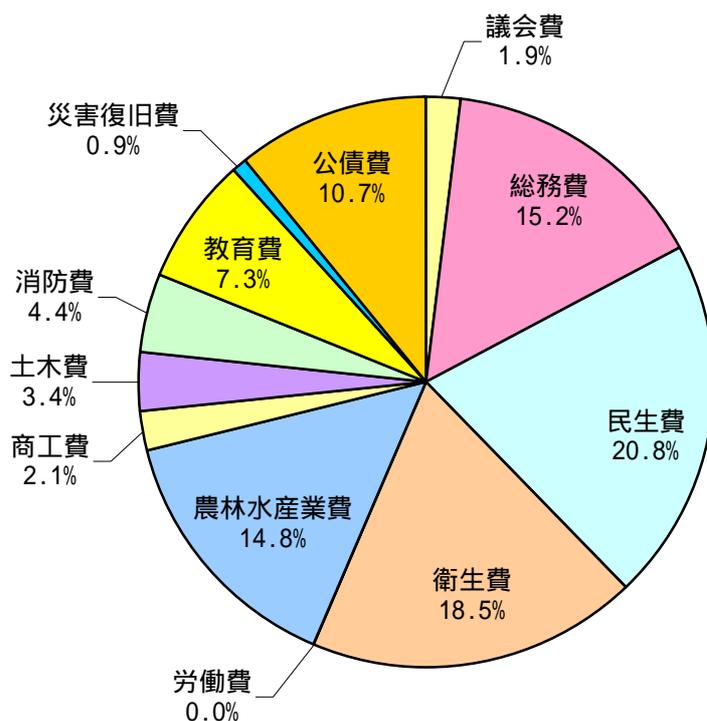
歳入総額は、前年度より6億650万円（10.7%）減少の50億3750万2千円です。投資的事業を大幅削減したことに伴い、その財源となる地方債、基金繰入金等も大幅に減少しています。各区分における増減の主な要因は次のとおりです。（増減額の大きいもの順）

県支出金（ 354,621 ）	漁業経営構造改善事業費補助金（ 315,300 ）
	保険基盤安定負担金（ 33,630 ）
	中山間地域等直接支払交付金（ 24,446 ）
	魅力あるさが園芸農業確立対策事業費補助金（ 14,986 ）
町債（ 172,100 ）	一般公共事業債（ 78,200 ）
	臨時財政対策債（ 54,800 ）
	辺地対策事業債（ 26,100 ）
	公営住宅建設事業債（ 15,300 ）
繰入金（ 143,753 ）	公共施設整備基金繰入金（ 176,020 ）
	財政調整基金繰入金（ 111,684 ）
	地域づくり事業基金繰入金（ 104,220 ）
	減債基金繰入金（ 61,322 ）
地方交付税（ 69,148 ）	普通交付税（ 86,407 ）
	特別交付税（ 17,259 ）
国庫支出金（ 50,998 ）	保険基盤安定負担金（ 34,008 ）
	老人ホーム入所措置費負担金（ 17,029 ）

歳出(目的別)

(単位：千円、%)

区分	平成17年度		平成16年度		増減額 (A-B) C	増減率 C/B*100
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比		
議会費	93,691	1.9	94,216	1.7	525	0.6
総務費	753,033	15.2	1,009,844	18.1	256,811	25.4
民生費	1,029,986	20.8	1,025,479	18.4	4,507	0.4
衛生費	915,184	18.5	604,337	10.9	310,847	51.4
労働費	100	0.0	105	0.0	5	4.8
農林水産業費	733,520	14.8	1,274,632	22.9	541,112	42.5
商工費	105,036	2.1	109,577	2.0	4,541	4.1
土木費	166,611	3.4	265,913	4.8	99,302	37.3
消防費	215,660	4.4	192,984	3.5	22,676	11.8
教育費	361,709	7.3	427,030	7.7	65,321	15.3
災害復旧費	41,724	0.9	28,711	0.5	13,013	45.3
公債費	530,331	10.7	528,529	9.5	1,802	0.3
合計	4,946,585	100.0	5,561,357	100.0	614,772	11.1



歳出総額は、前年度より6億1477万2千円(11.1%)減少の49億4658万5千円です。年々増加傾向にある公債費は財政運営を圧迫しているため、町債新規発行の抑制を図るなど公債費削減に取り組まなければなりません。

各区分における増減の主な要因は次のとおりです。(増減額の大きいもの順)

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| 農林水産業費 (541,112) | 漁業経営構造改善事業 (368,148) |
| | 県営広域農道整備事業負担金 (65,448) |
| | 県営中山間地域総合整備事業負担金 (42,625) |
| | 中山間地域等直接支払交付金 (32,595) |

衛生費 (310,847)	町立太良病院事業会計繰出金 (282,385)
総務費 (256,811)	公共施設整備基金積立金 (156,344) 伊福埋立地整備事業 (94,141)
土木費 (99,302)	町道新設改良事業 (45,486) 町道大野線改良事業[辺地対策] (41,899)
教育費 (65,321)	B & G 体育館屋根改修事業 (34,020) 社会体育館屋根改修事業 (25,700)
消防費 (22,676)	消防車輛購入 (19,425)

各区分における主な事業は次のとおりです。

総務費	ケーブルテレビ施設整備事業 (106,757) 減債基金積立金 (103,120)
民生費	保育所運営委託料 (264,279) 心身障害者施設訓練等支援費 (139,708) 児童手当措置費 (65,050) 老人ホーム入所措置費 (49,497)
衛生費	町立太良病院事業会計繰出金 (395,293) ごみ収集運搬処分業務委託料 (51,166) 老人保健事業 (46,588)
農林水産業費	広域漁港整備事業 (143,961) 県営広域農道整備事業負担金 (120,330) 糸岐漁港高潮対策事業 (83,808) 中山間地域等直接支払交付金 (76,221)
商工費	廃止路線代替バス運行費補助金 (4,506) 納涼夏まつり補助金 (3,240)
土木費	町道新設改良事業 (68,786) 急傾斜地崩壊防止事業 (11,999)
消防費	消防車輛購入 (19,425) 消防施設整備費補助金 (2,964)
教育費	野球場改修事業 (21,260) 屋内プール改修事業 (12,180)

2. 特別会計の決算状況

(単位：千円)

会計名	平成17年度決算額			Cの内訳	
	歳入 A	歳出 B	差引 (A-B) C	基金積立額	翌年度 繰越額
老人保健	1,403,697	1,384,052	19,645	-	19,645
国民健康保険	1,534,334	1,457,336	76,998	38,500	38,498
山林	25,917	23,895	2,022	-	2,022
簡易水道	119,631	104,704	14,927	7,400	7,527
漁業集落排水	48,624	45,070	3,554	-	3,554

(単位：千円、%)

会計名	平成17年度決算額		平成16年度決算額		増減額			
	歳入 A	歳出 B	歳入 C	歳出 D	歳入 A-C	増減率	歳出 B-D	増減率
老人保健	1,403,697	1,384,052	1,327,448	1,326,714	76,249	5.7	57,338	4.3
国民健康保険	1,534,334	1,457,336	1,523,329	1,454,162	11,005	0.7	3,174	0.2
山林	25,917	23,895	51,357	50,365	25,440	49.5	26,470	52.6
簡易水道	119,631	104,704	101,376	91,234	18,255	18.0	13,470	14.8
漁業集落排水	48,624	45,070	42,836	38,978	5,788	13.5	6,092	15.6

老人保健特別会計では、対象者1人当りの医療費が増加傾向にあり、歳入、歳出ともに前年度より5000万円以上増加しています。

また、山林特別会計では、前年度実施した町有林主伐事業の減少により、歳入、歳出ともに前年度より約2500万円減少しています。

3. 企業会計の決算状況

(単位：千円)

会計名	区分	平成17年度決算額		
		歳入 A	歳出 B	差引 A-B
町立太良病院	収益的	651,157	690,282	39,125
	資本的	1,752,012	1,797,335	45,323
水道	収益的	52,555	44,336	8,219
	資本的	13	16,220	16,207

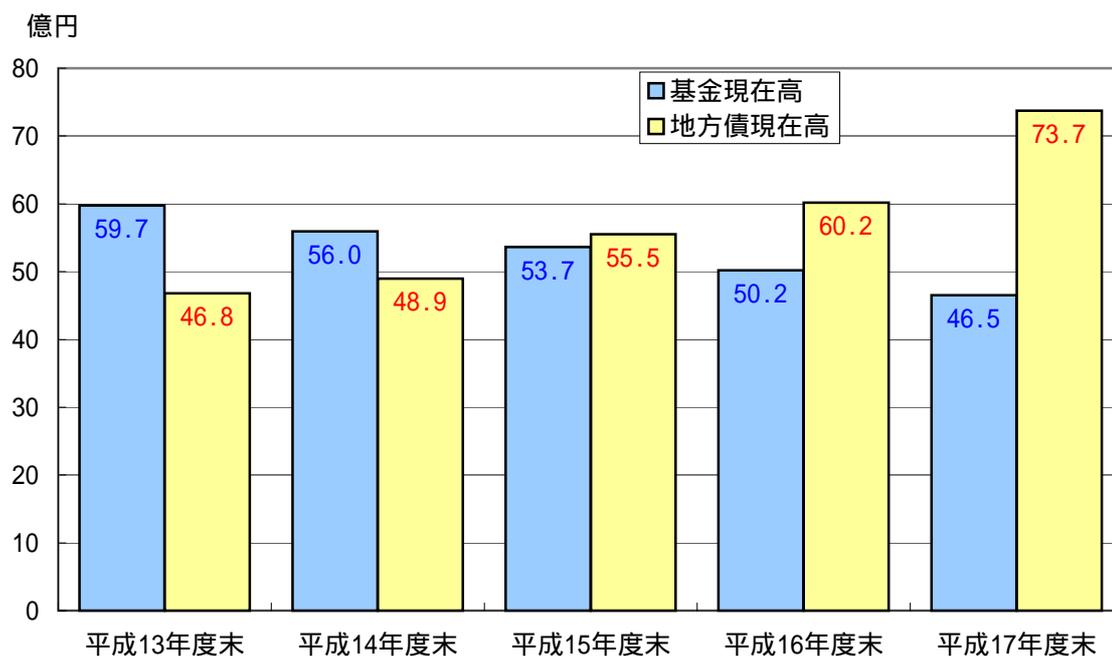
資本的収支の不足分は、それぞれの事業会計の内部留保資金によって補てんされています。

(単位：千円、%)

会計名	区分	平成17年度決算額		平成16年度決算額		増減額			
		歳入 A	歳出 B	歳入 C	歳出 D	歳入 A-C	増減率	歳出 B-D	増減率
町立太良病院	収益的	651,157	690,282	728,197	746,630	77,040	10.6	56,348	7.5
	資本的	1,752,012	1,797,335	368,988	379,656	1,383,024	374.8	1,417,679	373.4
水道	収益的	52,555	44,336	51,867	46,182	688	1.3	1,846	4.0
	資本的	13	16,220	-	16,291	13	皆増	71	0.4

町立太良病院事業会計では、病院建設整備事業費の増加により、資本的収入、支出ともに約14億円増加しています。

4 . 基金及び地方債現在高の状況（全会計）



全会計における、基金（積立基金及び定額運用基金）と地方債の現在高の推移です。

基金現在高は、財源不足を補うための取崩しを毎年行っているために、5年間で約13億円減少しています。逆に地方債現在高は、投資的事業等の財源として毎年借入れをしているため、5年間で約27億円増加しています。特に平成17年度においては、町立病院建設整備事業で約18億円の借入れをしたため、前年度からの増加額が大きくなっています。